

# 第35回ソフトボール競技実施要項

## 全国ろうあ者体育大会ソフトボール競技九州地区予選

### 1. 競技種目

男子ソフトボールとする。

### 2. 競技規則

大会開催年度の(公財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ルール及び競技実施要項規定並びに大会特別規則により実施する。

### 3. 参加資格

① 競技実施要項規定によるものとする。

② 県のごとの出場枠を下記のとおりにする。

福岡1、佐賀1、長崎1、大分1、熊本1、宮崎1、鹿児島1、沖縄1、計8チーム以内になるものとする。

但し、各県のチーム有無、数により、枠を変更できる。

### 4. チームの編成

① 1チームの編成は、20名以内とする。

監督またはコーチ・マネージャー・スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20名の範囲内で登録しなければならない。

② 特別な理由(突発的な事故・疾病等)がある場合に限り、選手の変更並びに背番号の変更は、本大会競技実施要項の規定用紙に記入して、指定期日までに提出することによって認められる。ただし、追加の申込みは一切認めない。

③ 大会特別規則として、隣県地区内から選手を補強することができることとする。この場合、補強選手の人数は2名以内とし、申込締切り後の登録・変更については認められないものとする。

### 5. 試合球

検定ゴム3号球とし、実行委員会が提供する。

### 6. 試合方法

① 対戦方法はトーナメント方式とする。

② 試合は、7イニング制と時間制を併用し、どちらか先に達した時点で試合終了とする。

③ 80分を越えて新しいイニングに入らないものとする。

④ 7イニングまで達した場合は、規定時間に達していなくても終了とする。

⑤ 5回以降7点差の場合は、コールドゲームとする。また、7回終了時同点の場合は、抽選により勝敗を定める。

⑥ 決勝戦については7回とし、同点の場合は8回よりタイブレーカーを適用する。但し、2回限りとする。

### 7. 表彰

① 表彰式は、決勝戦終了後、閉会式にて行なう。

② 表彰については、例団体表彰は、優勝・準優勝とする。

(イ)個人表彰は、最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・打撃賞・敢闘賞とする。

### 8. 用具等

競技に使用する用具については、(公財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ルールに定められたものとする。

なお、打者及び走者は、ヘルメットを使用しなければならない。また、守備中の捕手は、ヘルメット及びマスク・スロート・ガードマスク・ボディプロテクター・レガーズを着用しなければならない。

## 9. 監督・主将会議

- ① 監督または主将及びチーム関係者等の2名が出席すること。
- ② 開会議には定時に出席する。欠席の場合は棄権とみなす。
- ③ 同会議において、大会組合せ抽選を行なう。
- ④ 組合せ抽選会における本抽選のくじ引き順を決定する予備抽選を引く順番は、開会議場での出席受付順により行なう。
- ⑤ 開会議において説明を受けた事項及び決められた事項等は、必ず選手全員に徹底させること。

## 10. その他

- ① 試合中ベンチに入ることができる者は、指定された大会係員及び登録された監督・選手20名とチーム代表者1名・スコアラー1名・マネージャー1名とする。
- ② 試合開始予定時刻の30分前までには会場に到着し、会場本部席に到着の報告を行なうこと。なお、集合時間に遅れたチームは、原則として棄権とみなす。  
試合開始予定時刻よりも早くゲームを行なえる場合もあるので、十分余裕を持って行動すること。
- ③ ベンチは、組合せ番号の若いチームを1塁側とする。
- ④ ゲーム前の公式練習（シートノック・フィールドイング）は5分間とする。  
ただし、天候・時間の状況等により中止または短縮する場合がある。  
ノッカーも選手と同様のユニホームを着用すること。

## 〈注意事項〉

1. 打順表（オーダー表）提出について  
試合開始予定時刻の30分前、または前の試合5回終了までに、打順表（4枚1組複写）に必要事項を記入し、必ずフリガナをつけて球場本部（A 球場ネット裏）に提出すること。  
相手のチーム打順表は審判・記録員の照合確認のうえ審判員より受け取る。
2. 攻守順の決定  
打順表提出の時、審判員立会いのもと「コイン」のトスによって決定する。  
「コイン」の裏表は先着（打順表持参）チームに優先権を与える。
3. 競技者席  
組合せ番号の若い方を1塁側とする。ベンチに入る人数は要項で定められた者以内とする。
4. フィールドイング
  - ① 競技場に入ることを許されたメンバーで行なうこと。
  - ② 後攻チームより5分間とし、審判員の指示に従うこと。
  - ③ 大会運営上、時間の短縮及び省略することもある。
5. 競技用具
  - ① バット・ヘルメット（JSA）の点検をし、規定以外のもの及び危険と思われる用具は試合終了まで、球場本部席で保管する。（試合終了後、受け取りに来ること）
  - ② 同一チームの選手のユニホームは同色・同衣装で統一された品位あるものであること。また、帽子は同一のものとする。
  - ③ 背番号は監督30番、コーチ31番、主将10番、選手は1番から99番までとする。胸番号も同一とし、胸に付けなければならない。
  - ④ 金属製スパイク使用は認めない。また、危険行為をした場合は退場とする。

◎第41回バレーボール競技 ◎第4回ソフトバレーボール競技

会場案内図 ①

鹿児島市郡山体育館 鹿児島市東俣町 1401

TEL099-298-8448 FAX099-298-8451



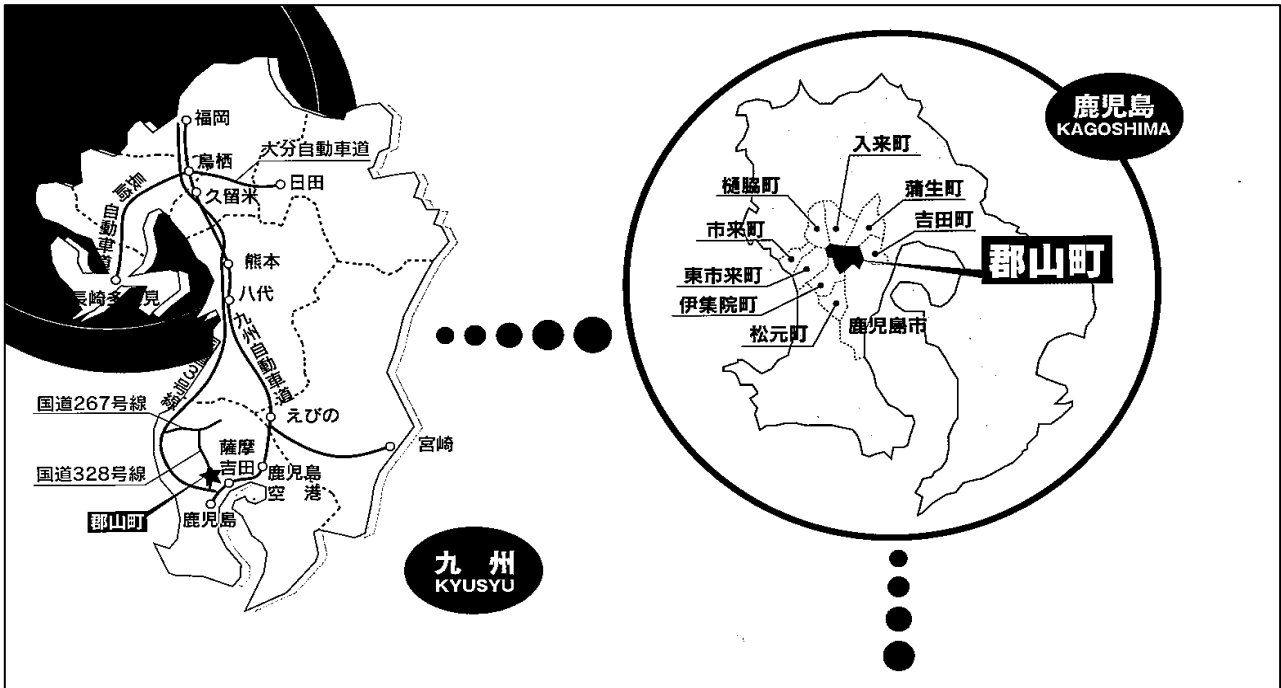
◎第41回バレーボール競技 ◎第4回ソフトバレーボール競技 会場案内図 ②

鹿児島市郡山体育館

鹿児島市東俣町 1401

TEL099-298-8448

FAX099-298-8451



お車でお越しの場合

- ・鹿児島市街地から車で30分
- ・薩摩川内市内から車で50分
- ・鹿児島空港から車で45分
- ・鹿児島北ICから車で20分
- ・始良ICから車で20分

バスでお越しの場合

【天文館】

タカプラ前

いわさきバスネットワーク(鹿児島交通バス) 郡山方面乗り場 (スパランドらら行終点下車)

【鹿児島中央駅】

アミュプラザ前

東7番バス乗り場 (スパランドらら行終点下)

